

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【公開番号】特開 2015-143806 (P2015-143806A)

【公開日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2015-050

【出願番号】特願 2014-25531 (P2014-25531)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/02 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/02 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 29 日 (2016.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放電を発生させるための放電電極と、前記放電電極と画像形成装置の潜像担持体との間に配設されるグリッド電極と、前記潜像担持体を帯電させるために前記放電電極に印加される帯電バイアスを定電流制御で出力する帯電電源と、前記グリッド電極に印加するためのグリッドバイアスを定電圧制御で出力するグリッド電源と、前記グリッドバイアスの定電圧制御における出力設定値であるグリッド設定値を決定するグリッド決定処理を所定のタイミングで実施する制御手段とを有し、前記放電電極と前記潜像担持体との間で放電を発生させて前記潜像担持体の表面を帯電させる帯電装置において、前記放電によって帯電せしめられた前記潜像担持体の表面電位を検知する表面電位検知手段を設け、前記表面電位検知手段による検知結果と前記グリッド設定値との差分に基づいて、前記帯電バイアスの定電流制御における出力設定値である帯電電流設定値を決定する帯電電流決定処理を所定のタイミングで実施するように、前記制御手段を構成したことを特徴とする帯電装置。

【請求項 2】

請求項 1 の帯電装置において、前記グリッド決定処理にて、前記潜像担持体の目標帯電電位と、前記検知結果との差分に基づいて、前記グリッド設定値を決定する処理を実施するように、前記制御手段を構成したことを特徴とする帯電装置。

【請求項 3】

請求項 2 の帯電装置において、前記帯電電流決定処理を実施した後、ユーザーの命令に基づく画像形成処理を実施する前に、前記目標帯電電位と前記検知結果との差分に基づいて前記グリッド決定処理の実施の必要性を判断し、必要である場合には、前記グリッド決定処理を実施した後に、前記画像形成処理を実施する処理を行うように、前記制御手段を構成したことを特徴とする帯電装置。

【請求項 4】

請求項 3 の帯電装置において、前記画像形成処理を実施するのに先立って、前記グリッド決定処理を実施する前に前記帯

電電流決定処理を実施する処理を行うように、前記制御手段を構成したことを特徴とする帯電装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れかの帯電装置において、
前記帯電電流決定処理を実施した後における前記表面電位検知手段による検知結果と前記グリッド設定値との差分に基づいて、前記潜像担持体について寿命に達したか否かを判定する寿命判定処理を実施するように、前記制御手段を構成したことを特徴とする帯電装置。

【請求項 6】

潜像担持体と、前記潜像担持体を帯電せしめる帯電手段と、帯電後の前記潜像担持体に潜像を書き込む潜像書込手段と、前記潜像を現像する現像手段とを備える画像形成装置において、
前記帯電手段として、請求項 1 乃至 5 の何れかの帯電装置を用いたことを特徴とする画像形成装置。